

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年9月14日(2022.9.14)

【公開番号】特開2020-185229(P2020-185229A)

【公開日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-047

【出願番号】特願2019-92522(P2019-92522)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月6日(2022.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、前記有利状態の終了後の状態として、非特別状態と、該非特別状態よりも遊技者にとって有利な特別状態とに制御可能な状態制御手段と、

前記有利状態に制御されることを判定可能な判定手段と、

前記特別状態において、前記有利状態に制御された後に前記特別状態に制御されることを示唆する示唆演出を、複数回の可変表示を含む所定期間に亘って実行可能な示唆演出実行手段と、

を備え、

前記有利状態は、少なくとも前記非特別状態に制御される第1有利状態と、前記特別状態に制御される第2有利状態とを含み、

前記示唆演出実行手段は、

前記示唆演出の実行中において、前記第1有利状態に制御されると判定された場合に、前記第1有利状態に制御されると判定された可変表示が実行される前に前記示唆演出を終了させる事前終了態様にて前記示唆演出を実行可能であり、

前記示唆演出の実行中において、前記第2有利状態に制御されると判定された場合に、前記第2有利状態に制御されると判定された可変表示が実行されるまで前記示唆演出を継続させる継続態様と、前記第2有利状態に制御されると判定された可変表示が実行される前に前記示唆演出を終了させる事前終了態様と、のうちいずれかの演出態様にて前記示唆演出を実行可能であり、

前記第2有利状態に制御されると判定された場合に、実行中の前記示唆演出を、事前終了態様よりも高い割合にて継続態様にて実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【 0 0 0 6 】

手段 A の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、前記有利状態の終了後の状態として、非特別状態と、該非特別状態よりも遊技者にとって有利な特別状態とに制御可能な状態制御手段と、

前記有利状態に制御されることを判定可能な判定手段と、

前記特別状態において、前記有利状態に制御された後に前記特別状態に制御されることを示唆する示唆演出を、複数回の可変表示を含む所定期間に亘って実行可能な示唆演出実行手段と、

を備え、

前記有利状態は、少なくとも前記非特別状態に制御される第 1 有利状態と、前記特別状態に制御される第 2 有利状態とを含み、

前記示唆演出実行手段は、

前記示唆演出の実行中において、前記第 1 有利状態に制御されると判定された場合に、前記第 1 有利状態に制御されると判定された可変表示が実行される前に前記示唆演出を終了させる事前終了態様にて前記示唆演出を実行可能であり、

前記示唆演出の実行中において、前記第 2 有利状態に制御されると判定された場合に、前記第 2 有利状態に制御されると判定された可変表示が実行されるまで前記示唆演出を継続させる継続態様と、前記第 2 有利状態に制御されると判定された可変表示が実行される前に前記示唆演出を終了させる事前終了態様と、のうちいずれかの演出態様にて前記示唆演出を実行可能であり、

前記第 2 有利状態に制御されると判定された場合に、実行中の前記示唆演出を、事前終了態様よりも高い割合にて継続態様にて実行可能である、

ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

前記有利状態の終了後の状態として、非特別状態（例えば、非 K T 状態や第 1 K T 状態）と、該非特別状態よりも遊技者にとって有利な特別状態（例えば、第 2 K T 状態）とに制御可能な状態制御手段（例えば、C P U 1 0 3）と、

前記有利状態に制御されることを判定可能な判定手段（例えば、C P U 1 0 3 が第 1 入賞時乱数値判定処理や第 2 入賞時乱数値判定処理を実行する部分）と、

前記特別状態において、前記有利状態に制御された後に前記特別状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えば、第 2 K T 状態継続報知演出）を、複数回の可変表示を含む所定期間に亘って実行可能な示唆演出実行手段（例えば、演出制御用 C P U 1 2 0 が図 8 - 3 1 に示す第 2 K T 状態継続報知演出実行処理を実行する部分）と、

を備え、

前記有利状態は、少なくとも前記非特別状態に制御される第 1 有利状態（例えば、6 R 確変大当たりや 2 R 通常大当たりの大当たり遊技状態）と、前記特別状態に制御される第 2 有利状態（例えば、10 R 確変大当たりや 2 R 確変大当たりの大当たり遊技状態）とを含み、

前記示唆演出実行手段は、

前記示唆演出の実行中において、前記第 1 有利状態に制御されると判定された場合に、前記第 1 有利状態に制御されると判定された可変表示が実行される前に前記示唆演出を終了させる事前終了態様にて前記示唆演出を実行可能であり（例えば、図 8 - 3 3 (A) に示すように、可変表示結果が 6 R 確変大当たりや 2 R 通常大当たりとなる保留記憶が発生した場合は、実行中の第 2 K T 状態報知演出を次の可変表示の開始時に終了する部分）、

前記示唆演出の実行中において、前記第 2 有利状態に制御されると判定された場合に、前記第 2 有利状態に制御されると判定された可変表示が実行されるまで前記示唆演出を継続させる継続態様と、前記第 2 有利状態に制御されると判定された可変表示が実行される前に前記示唆演出を終了させる事前終了態様と、のうちいずれかの演出態様にて前記示

10

20

30

40

50

唆演出を実行可能である（例えば、図 8 - 3 3 ( B ) に示すように、可変表示結果が 1 0 R 確変大当たりや 2 R 確変大当たりとなる保留記憶が発生した場合は、大当たり遊技が開始されるまで第 2 K T 状態継続報知演出を実行する場合と、実行中の第 2 K T 状態報知演出を次の可変表示の開始時に終了する場合と、がある部分）、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、示唆演出が継続しているにもかかわらずに特別状態が終了する第 1 有利状態に制御されることを防ぐことができるとともに、示唆演出が事前終了態様にて実行された場合でも、特別状態が継続する第 2 有利状態に制御される場合があるので、示唆演出による示唆を適切化しつつ、遊技興奮を向上できる。

10

20

30

40

50